

Meeting Salon

平成31年度
大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業

実施報告会

…報告書…

令和2年6月20日(土)

10:00~12:00

すこやか交流フラザ 2F 健康室

主 催: パートナースhip活動支援センター
【運 営: NPO法人 共働のまち大野城】
共 催: 大野城市

<お知らせ>

6月に開催を予定しておりました『平成31年度 大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業』実施報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、皆様の安全を第一に考えて中止とし、書面報告といたしました。

何卒、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【プログラム】※下記プログラムは、当日予定していた内容です。

10:00 ～ オープニング

・はじめての方へ「ファンド事業って？」事業概要のご紹介

10:10 ～ H31年度実施報告（3団体）

1) リンクタウン下大利

2) いきものハートフルコミュニティ

3) 栄町 人とねこの幸せの会

11:00 ～ サロン事業の紹介

・ファンド事業だけじゃない！地域のためになる活動のご紹介

11:20 ～ 参加者みんなで交流タイム♪

・活動実績のある団体さんに直接聞きたいあんなコト・こんなコト

11:50 ～ エンディング

ファンド事業って…？

「地域のためになる活動」「地域課題解決のための事業」を行う団体（5名以上）に対して、**その事業費の一部を助成**します。また、関係機関との調整や、活動に関するアドバイス等の**側面的な支援**を行います。日々活動を頑張っている団体の皆様に応援・支援する制度です。

助成金額について…

助成対象経費の**90%以内**で、最大**30万円**（初年度）です。最初に助成した年度から、最大**3回**まで助成を受けることが可能です。※助成対象であっても、助成額の制限がある経費があります。

審査について…

助成を受けるには**審査が必要**です。

★審査会日程★

《1回目》2/1（土）～2/29（土）迄の申請分 ⇒ 令和2年3月中旬に審査

《2回目》6/1（月）～6/30（火）迄の申請分 ⇒ 令和2年7月中旬に審査

利用できる団体について…

◆以下のいずれかに該当する5名以上の団体

1.地域団体、市民活動団体、ボランティア団体

2.法人格を有する団体【NPO等】

3.企業

4.その他大野城市パートナーシップ活動支援センターが認める団体

◆以下の全てに当てはまる事業

1.地域課題の解決や地域の発展のためになる事業

2.非営利かつ公益的事業

3.継続的な実施が見込まれる事業

4.他の公的機関から助成等を受けていない事業（同一年度）

平成31年度 事業報告

事業の名称	リンクタウン「しもおおり」	
事業実施団体名	下大利駅西口まちづくり協議会	
下大利駅周辺再開発や西鉄連続立体交差化事業にともない、今までも、そして、これからも大きく変貌していく下大利駅西口地区を中心に、住民同士だけでなく、地域内の事業者、教育機関、地域活動団体などと連携し、新たな地域の賑わいを創出と活性化、地域住民の絆づくりへの取り組みと、それに併せて、地域内の清掃活動や青少年の健全育成を目的としたパトロール活動などを実施し、より住みやすい来訪しやすい街づくりを目指している。 今後、本事業を充実させることにより、西鉄連続立体交差事業完了後から始まる新しいまち「下大利」を市内外にPRし、にぎわいのあるまちづくりを更に推進していき、また、下大利区域内だけでなく、隣接する地域との連携及び協働も視野に入れ、より多角的なまちづくりをしていきたい。 また、周辺地域に住む多世代間の交流を推進していき、多世代又は新旧の住民がお互いを、より理解し合い、地域への思いを共有することで、住みやすい環境づくりを行っていきたいと考える。 将来の展望として、より多くの住民が将来に渡り定住しようと思うようなまちづくりを推進していく。そのためには、本事業をより充実させることが不可避であり、下大利地区でなく中央地区全体に事業効果が波及することも期待しており、中央地区がにぎわいのある安全で安心したまちになるように本事業を推進したいと考えている。 そして、西鉄連続立体交差事業完成後は、高架下の有効活用も行政により検討されており、当団体の活動の積み重ねが、西鉄沿線を中心とした大野城市の新たな発展に、市民・住民の立場で貢献できる基盤をつくっていくことが期待できる。		
総事業費(円)	助成確定額(円)	事業期間
523,829	200,000	2019.4.1～2020.3.31

リンクタウン 「しもおおり」事業

【下大利駅西口まちづくり協議会】

平成31年度
大野城市中央地区コミュニティ活動応援ファンド 事業報告

事業実施団体：下大利駅西口まちづくり協議会

事業の名称：リンクタウン「しもおおり」



下大利駅西口まちづくり協議会

- 平成27年度より大野城市都市計画課と共働して、下大利駅前西口周辺のまちづくりワークショップを開催。
- 参加者は、本協議会メンバー以外に、周辺地域の住民や各学校機関の職員、各学校機関のPTA役員なども参加し、まちぐるみの活動を実施。
- 西鉄連続立体交差事業に伴う下大利駅西口周辺再開発が進む中で、新たなにぎわいづくり創出と活性化、地域住民の絆づくりへの取り組み。
- 周辺の教育機関や団体等と協働した、健全な青少年育成や、子どもたちも含めた、より安全で安心なまちづくりへの取り組み。

主な開催事業

- 七夕まつり(くすの木公園 来場者数 約1,500名) 令和元年7月6日
- 下大利ハロウィンイベント(駅西口・商店街 来場者数 約3,000名) 令和元年10月31日
- 下大利駅西口クリスマスイルミネーション装飾 令和元年12月
- 清掃活動・夜間パトロール(動員数 各4～6名 毎月実施)

会議の様子



下大利七夕まつり



ハロウィン イベント



クリスマスイルミネーション



清掃活動



地域への効果

- ・にぎわいや交流が生まれ、下大利への認知度高まった。
- ・各学校や周辺地域の幼・保育施設、地域の子ども会の参加で、子どもたちが地域で活躍できる場を提供できた。
- ・おやじの会や他の地域団体が参加した事で、交流が生まれ、地域を見守り生活をする方々で集まり、お互いの顔が見えるまちづくりにつながった。
- ・清掃活動により、住民が気持ちよく生活できる一助となった。
- ・夜間パトロール活動により、子どもたちを含む、住民が安全で安心できるまちづくりの一助となることができた。

団体への効果

- ・助成を受けることにより、より大きな規模で、充実した事業が実施できた。
- ・中央パートナーシップ活動支援センターの支援を受けることにより、より多くの地域活動団体と協働できるようになり、本事業の目的である「地域住民の絆づくり」の醸成につながった。また、事業の企画から実施までアドバイスを受けることができ、事業実施スキルが高まった。
- ・本協議会の活動を周辺住民に周知し、理解を呼びかけることができ、今後、より多くの住民が本協議会に入会することが期待できる。

平成31年度 事業報告

事業の名称	いきもの共生 街づくり	
事業実施団体名	いきものハートフルコミュニティ	
いきものハートフルコミュニティの活動も、この春で2年目を終えた。 捨て猫や望まない繁殖による公園・道路などの犬猫の糞害、ゴミ荒らしや人による飲食物のゴミの投棄等で環境を損ねる状況が見受けられる。これらを改善し、エリアの人々が生きものと気持ちよく暮らす街づくりを目指す。さらに、「猫」の問題ではなく「地域の環境問題」とする環境省の推奨する目標を理解し、人間の捨てたゴミ拾い、青少年への声掛け、多頭飼育している独居老人宅への訪問等も含め、活動を行っている。ゴミや捨て猫のいない衛生的で生きものに優しい街づくりを目指しました。 地域への効果として、野良猫が減少し、地域の方の不満の声が減った。 公園内のゴミの減少(特に池のゴミが減少)猫と猫以外の糞も減少した。 団体への効果として、猫に対し不満を持っている方から協力はできないが「頑張っているね、見守るよ」等のお声を頂き、不定期ではあるがエサやりを手伝ってくださる方も出てきて活動が市民の方に浸透していているように思える。 ファンド事業は本年度で終了するが、今後の展望としては、活動内容は今までと変わらず、毎日の活動の中でTNR活動の一環として、里親探しや譲渡を推進していきたい。また、活動の周知に努めていき、ゴミや捨て猫のいない衛生的で生きものに優しい街づくりを目指していきたい。		
総事業費(円)	助成確定額(円)	事業期間
329,233	250,000	2019.4.1～2020.3.31

いきものの共生 街づくり事業

【いきもののハートフルコミュニティ】



[活動の目的]

飼い主のいない猫の不妊去勢手術をすることにより野良猫の増加を防ぎ、術後の管理や美化活動しながら、地域住民が気持ちよく過ごせる街づくりをめざす

[活動内容]

- ・ 活動実施公園及び周辺の野良猫の不妊去勢手術を施す
- ・ 手術後の管理や美化活動（適切な餌やり・ゴミ拾い等）
- ・ 近隣住民の猫の飼育指導と手術のための手伝い
- ・ 保護猫の検査、治療、里親探しの実施



私たちの活動 【実績】

★昨年度は環境美化にも積極的に取り組みました！



清掃前



清掃後



豊かな自然と動物の共生

たくさんの“ありがとう”を頂きました！



たくさんのゴミが出ました！



相談・支援活動・・・



子猫を保護したんですが我が家では飼えないんです・・・

などの相談を受けて
飼育方法や注意点をお話した上で、
ご家族の理解・協力を得るよう話し合い
どうしてもできない時はお預かりして
共同で育てることにしました。
結果、今は幸せに暮らしています！



交流している地域ボランティア団体さんより
地域猫がたくさんいなくなったとの相談がありました。
専門家に介入して頂いた結果、事件性があるとのことで、
近隣住民の方を訪問やチラシポスティングで周知を行いました。



愛情たっぷりにお世話しました！



近年、虐待目的や「やっぱり飼えません」
など、まるで物扱いする方もおられます。
命の尊さや、正しい飼育法を理解して
いただく事も野良猫を増やさない事にもつな
がると思います。

里親が見つかるまで2か月間毎日、
毎日送迎を行いました。
快く預かってくれた、ペットショップさん
本当にありがとうございました！
お蔭で3匹が里親さんの元へ・・・



行方不明の猫を探す為チラシを作成し周辺住宅にポスティングを行いました。

保護猫の里親を探す為の周知活動の実施、無事3匹を譲渡出来ました。

自立に向け自主財源の確保するため。積極的にパザー等に出店しました。

活動の結果・・・

- ・TNR、里親募集、そして譲渡し、正しい飼育方法を理解していただき、育てていただく事で、野良猫の増加を防ぐことができた。
- ※猫が増えていると、活動に対してのクレームが、市役所の方に入ったとの連絡をいただきましたが、実際は減っているのが実状です。
- ・相談、支援を通じ、情報交換し、活動を知っていただくことが出来た。
- ・フンやゴミ拾い、餌やりの協力等でゴミを減らすことが出来た。

今後の課題・・・

- ・活動の地域を少しずつ広げ、野良猫の増加を防ぐ。
- ・より多くの方々に猫の正しい飼育方法を知っていただく。
- ・公園の美化活動に多くの方々に参加していただく。
- ・プラットフォームを活用し、活動を周知していただき協力メンバーを増やす。
- ・活動を継続して行くための資金作りを行う。



最後に・・・

猫が好きな方は、不幸な命を増やさない。

猫が苦手な方は、猫の被害を抑えたい。

どちらも、野良猫が増えないようにと願う気持ちは一緒です。

住民一人一人が正しい知識を持って、地域の問題としてとらえて行動し、野良猫が増えず、きれいで住みよい街になることを望み、今後も頑張っていきたいと思います。



平成31年度 事業報告

事業の名称	人とねこが住みやすい街づくり	
事業実施団体名	栄町 人とねこの幸せの会	
地域ねこの生息による生活環境被害で地域住民の不快感を生じることを減らし、人も猫も安心して生活できる、命にやさしい地域を作る。TNR 活動を進めることにより野良猫による環境被害の拡大を防ぐことができ、この活動を推進させることにより、不健康な猫による被害がなくなり猫被害を訴えるクレームはなくなってきている。勉強会の実施で地域住民の猫への理解を深めることができた。今年は 5 匹の繁殖制限手術ができ、猫に対する苦情が減る効果は今後に期待したい。 地域への効果として、エサ・水やりを推奨したことにより、地域ねこのゴミあさがなくなり、地域の衛生環境が保たれ、糞による住民の被害が減った。 繁殖制限手術の実施(5 匹)により、繁殖行動が減り猫に対する苦情(さかり声・尿のにおい・喧嘩等)が減る効果を今後に期待している。 団体への効果として、資金不足によりできなかった、避妊去勢手術が助成金でできた。 勉強会を開催することで、地域住民に「地域ねこ活動」を正しく理解していただくと共に活動に賛同いただけた。 今後の展望として、より住民に愛される地域猫にするため、地域外観に溶け込んだ猫施設の拡充整備(公民館にねこトイレ)。継続した猫への支援活動(エサやり等)、勉強会や写真展示の実施。イベントやカレンダーを製作し募金などで住民の理解と協力を得ていくようにする。 そして捨て猫のない衛生的で生き物に優しい住みやすい街を目指す。 また、公益活動として「地域猫活動」の認知、承認を得られるよう活動を継続する。		
総事業費(円)	助成確定額(円)	事業期間
179,764	161,000	2019.8.1 ~ 2020.3.31

人とねこが住みやすい 街づくり事業

【栄町 人とねこの幸せの会】

人とねこが住みやすい街づくり

栄町 人とねこの幸せの会



活動の目的

野良猫の生息による生活環境被害で地域住民の不快感が生じることを減らし人も猫も安心して生活できる、命にやさしい地域を作る。
ねことの共生を当たり前の地域に持っていく。

活動内容

- 1) 井戸端会議等住民の立ち話等で、今までの、「野良猫にエサを与えない」方針ではねこ被害を減らせないことを会員が伝播
- 2) 猫にエサを与えることは悪いことではない、エサや水、住処を提供することで猫が健康になることが、被害を減らすと隣近所に説明
- 3) 捕獲器でねこを捕獲し、避妊・去勢を行う
- 4) 地域猫活動の説明会開催
- 5) 協力者へのエサの補助

活動実績

毎日早朝に、町内のねこ生息状況をパトロール。エサやり、写真撮影等を行う。

繁殖制限手術の実施：5匹

月2回の集会にて現状報告、地域のねこに関する情報交換：13回

地域猫活動説明：11月27日開催

会員が6名から26名に増加

今年も子猫が生まれていました。



月2回の集会にて現状報告、地域の猫に関する情報交換



町中におかれたネコ用の飲み水

- ▶ 毎日新たな水がいっぱい入っています。提供者不明



エサをもらえるのを待っていたネコ

仲良く食べる仲の良ネコもいます。



捕獲器に入りそうなネコ

(この後捕獲され避妊しました)

普段エサをもらっているので警戒心は低いけど、エサをとられまいと威嚇



活動の流れの説明

2018年度までは「**野良猫にえさを与えないください。**」
と、栄町もPRしていました

住民は野良猫の所構わない、**下痢便にこまっていました。**
朝起きると、玄関口に広がる臭い下痢便。
苦勞して育てた芝生の上に広がる下痢便、
きれいな通路に黒茶色の下痢便がされており、
便の処理や、匂い取りに費やされる**無駄な時間、精神的な苦痛**が

ねこ被害に困っている主婦が集まって、区長に対応を要望しました
区長が大野城市に対応策を何度も相談し、
解決策は地域ねこ活動しか無いとの結論に達しました。

2019年 栄町 人とねこの幸せの会が結成される

どうしたら、下痢便被害から解放されるか、……

答えは猫を健康にすることです。

下痢便は体調の悪い証拠です。健康な猫の糞は犬より固めでどちらかと言うと、ころころしたフンをします。猫にえさと水を豊富に与えて、健康になれば下痢便が無くなるとメンバーが理解し、隣近所や顔を見かけた方に野良猫にエサと水をあげてくださいと説明し仲間を増やしていきました。

現在は下痢便はなくなりました。

ころころした糞は掃除のついでに集めて、燃えるゴミと一緒に出すだけです。

町中や個人宅にネコのトイレを設置できればよいのですが、

まだ、猫嫌いの方も多いため、皆さん近所の目を気にされて

ネコトイレ設置までは進んでおりません。時間がかかりそうです。





*動物病院へ輸送中



*会議中



*腕章を作りました。

北パートナーシップ活動支援センター

〒816-0912

大野城市御笠川1丁目17番1号

TEL (092) 513-0099

FAX (092) 504-5102

E-mail :kitaps@onj.csf.ne.jp

東パートナーシップ活動支援センター

〒816-0904

大野城市大池2丁目2番1号

TEL (092) 504-1428

FAX (092) 504-1595

E-mail :higaships@csf.ne.jp

北コミュニティ

上筒井区

下筒井区

山田区

雑餉隈町区

栄町区

仲島区

畑詰区



東コミュニティ

釜蓋区

井の口区

中区

乙金区

乙金台区

乙金東区

大池区



南コミュニティ

牛頸区

若草区

平野台区

月の浦区

南ヶ丘1区

南ヶ丘2区

つつじヶ丘区



中央コミュニティ

上大利区

下大利区

東大利区

下大利団地区

白木原区

瓦田区



南パートナーシップ活動支援センター

〒816-0964

大野城市南ヶ丘5丁目9番1号

TEL (092) 596-0686

FAX (092) 596-0348

E-mail :minami-ps@onj.csf.ne.jp

中央パートナーシップ活動支援センター

〒816-0942

大野城市中央1丁目5番1号

TEL (092) 573-3127

FAX (092) 587-6277

E-mail :chuoups@onj.csf.ne.jp